

目標達成計画

作成日: 令和3年 11月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	「ハッピーなグループホーム日本一」を目標に、尊厳を損なう言葉遣いや余計な否定語を使わないよう努めているが、経験年数の長い職員による、馴れ合い言葉が多くなっている。	「ハッピーなグループホーム日本一」を常に意識し、サービス業であることに徹する。	①利用者様が幸せを感じられるような言葉を使う。 ②親しみをこめつつも、対等な口の利き方は避ける。 上記を職員会議で指導、相互指摘を続ける。	24 ヶ月
2	40	男性利用者より、ホーム料理である「旬の野菜と魚中心の減塩料理」に対して不満の声が上がっている。	食事の個別対応の強化。	見た目を重視した、食欲が増す「美味しそうな食事」の提供を心掛ける。個別対応に力を入れる。 例)女性T様:可愛い盛りつけ、柔らかい物。 男性I様:たれを追加し濃い味付けに。肉増量。	12 ヶ月
3	10	コロナ禍で、家族と直接会話する時間が減り、希望や要望を今まで以上には汲み取れていない。	意見を出せる機会を作る。	家族と面談の時間を持ち、希望や要望を出せる機会を作る(年一回以上)。日頃から面会時に話しかけたり、メールで近況報告したりして、意見を出しやすくする。	12 ヶ月
4	26	本人の生活歴や生活環境、得意な事の把握はできており、実際に生活の中に取り入れてケアしているが、サービス計画に記載されていない。	ハッピーな計画書を目指す。	ありきたりではない、ご本人の生活が詰まっている計画書を作成する。	12 ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。